

Leader



2024年3月期 決算説明資料 リーダー電子（6867）

2024年5月15日

<https://www.leader.co.jp/>

2024年3月期 決算概要

2024年3月期 決算総括

業績：北米堅調。結果としてトップシェア奪取に向けた足場固めの期となった。

■ 売上高：4,544百万円（前期比+11.8%），経常利益295百万円

北米	放送局、ハリウッドを中心に堅調維持。当社シェアは着実に拡大。トップシェアが視野。
欧州	潮目に変化の兆し。パリ五輪含め、スポーツビジネスへの設備投資活発化。
インド・中東	大型案件受注。巨大なマーケットとして有望なため、シェア拡大を優先する戦略で営業強化。
中国	厳しい状況が継続。本格回復には程遠い状況。
日本	設備投資意欲低調が継続。

単位：百万円	2024年3月期 11/9修正計画	2024年3月期 実績	計画比 %
売上高	4,250	4,544	106.9%
営業利益	220	216	98.4%
経常利益	270	295	109.3%
親会社株主に 帰属する 当期期純利益	170	137	81.1%

■ 財務：自己資本比率 72.1%と盤石の財務基盤維持（前期末比△2.9pt）

2024年3月期 決算概要

北米において放送関連機器の販売が好調。

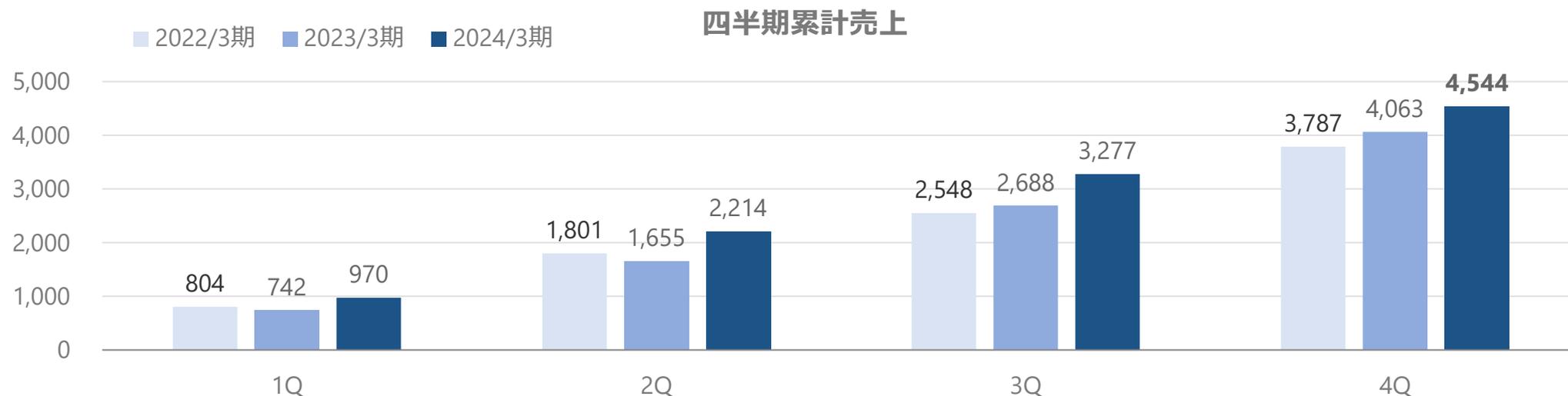
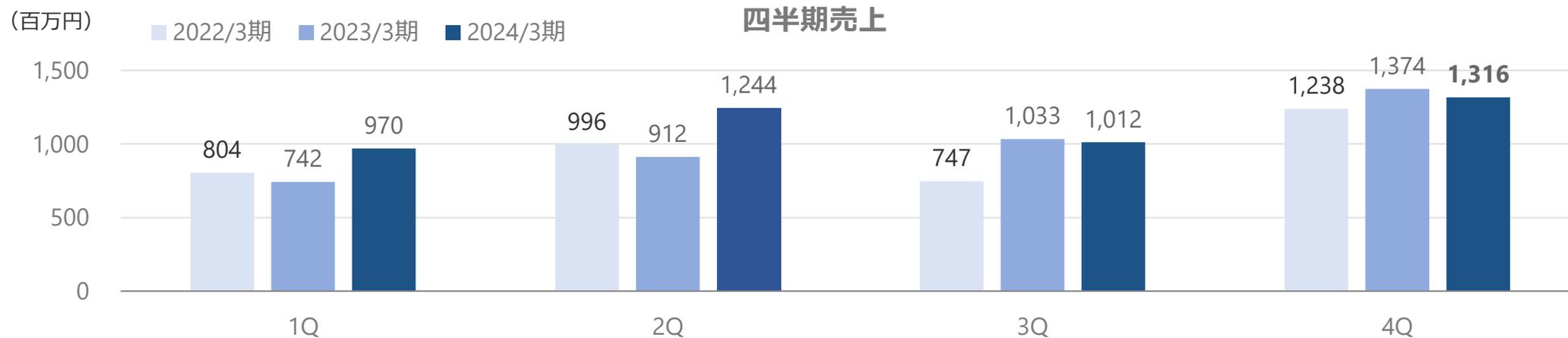
円安の影響もあり前期比11.8%の増収。各段階利益は黒字化。

(単位：百万円)	2023年3月期 実績	構成比	2024年3月期 実績	構成比 %	前年同期比 %
売上高	4,063	100%	4,544	100%	+11.8%
売上総利益	2,586	65.9%	2,939	64.7%	+13.6%
販売費及び一般管理費	2,901	64.0%	2,723	59.9%	△6.2%
営業利益	△314	1.9%	216	4.8%	—
経常利益	△214	4.1%	295	6.5%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△644	3.1%	137	3.0%	—

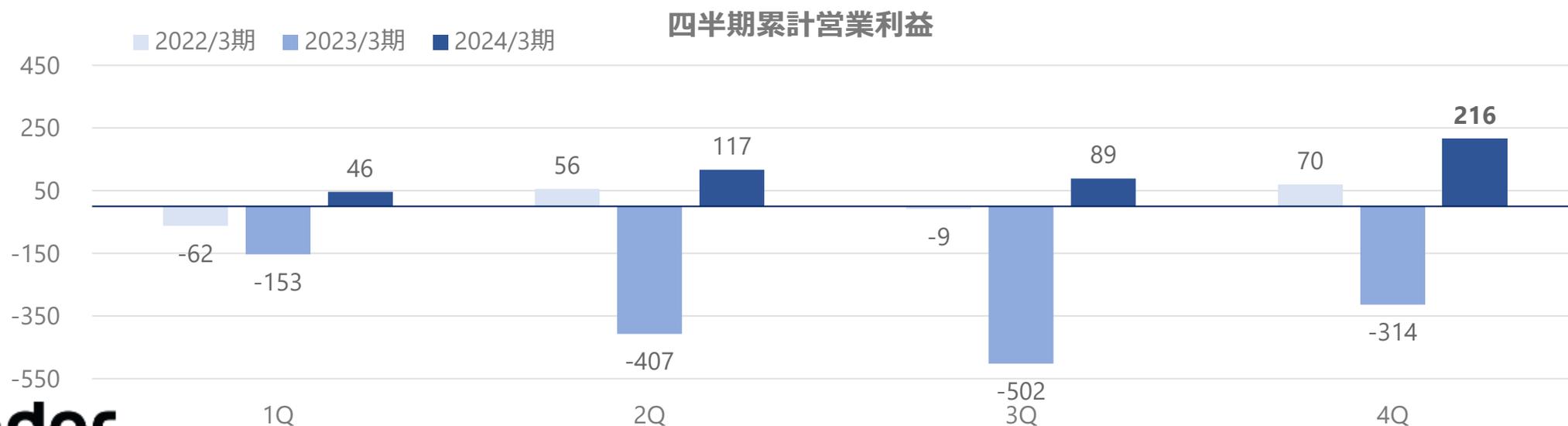
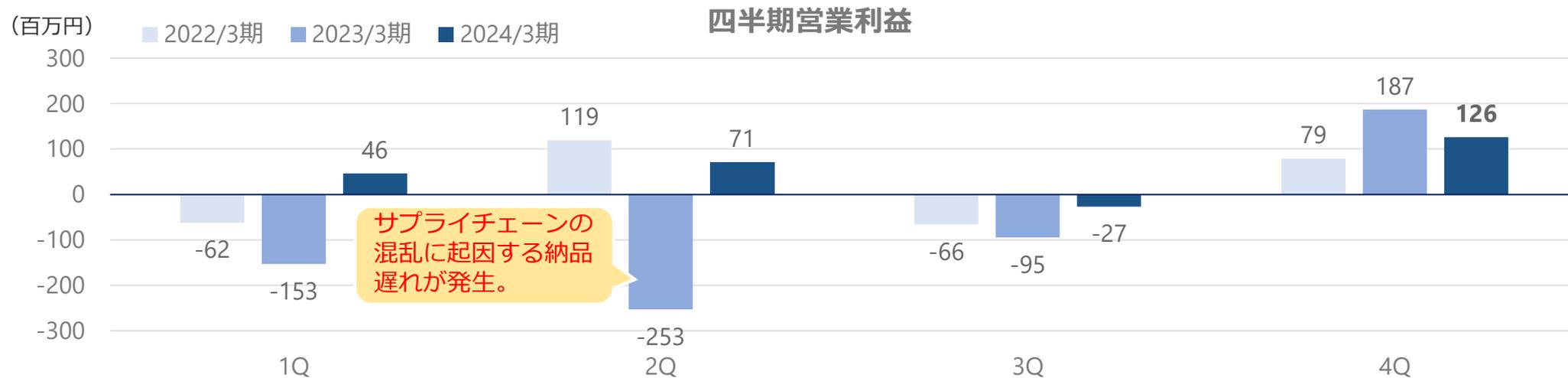
為替差益：+62

為替差益：+66

四半期業績推移（売上高）

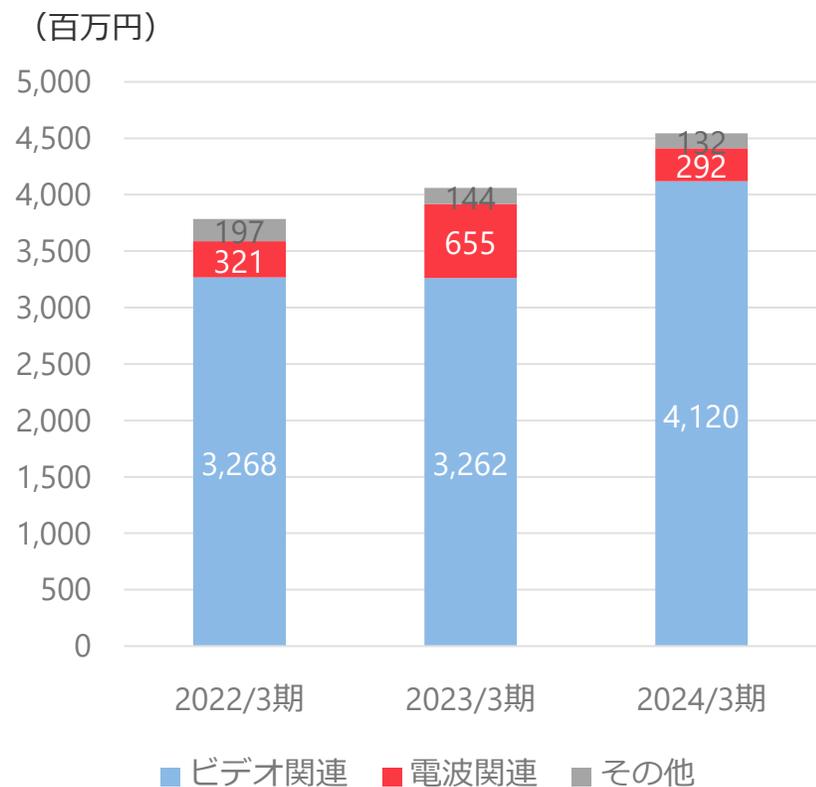


四半期業績推移（営業利益）

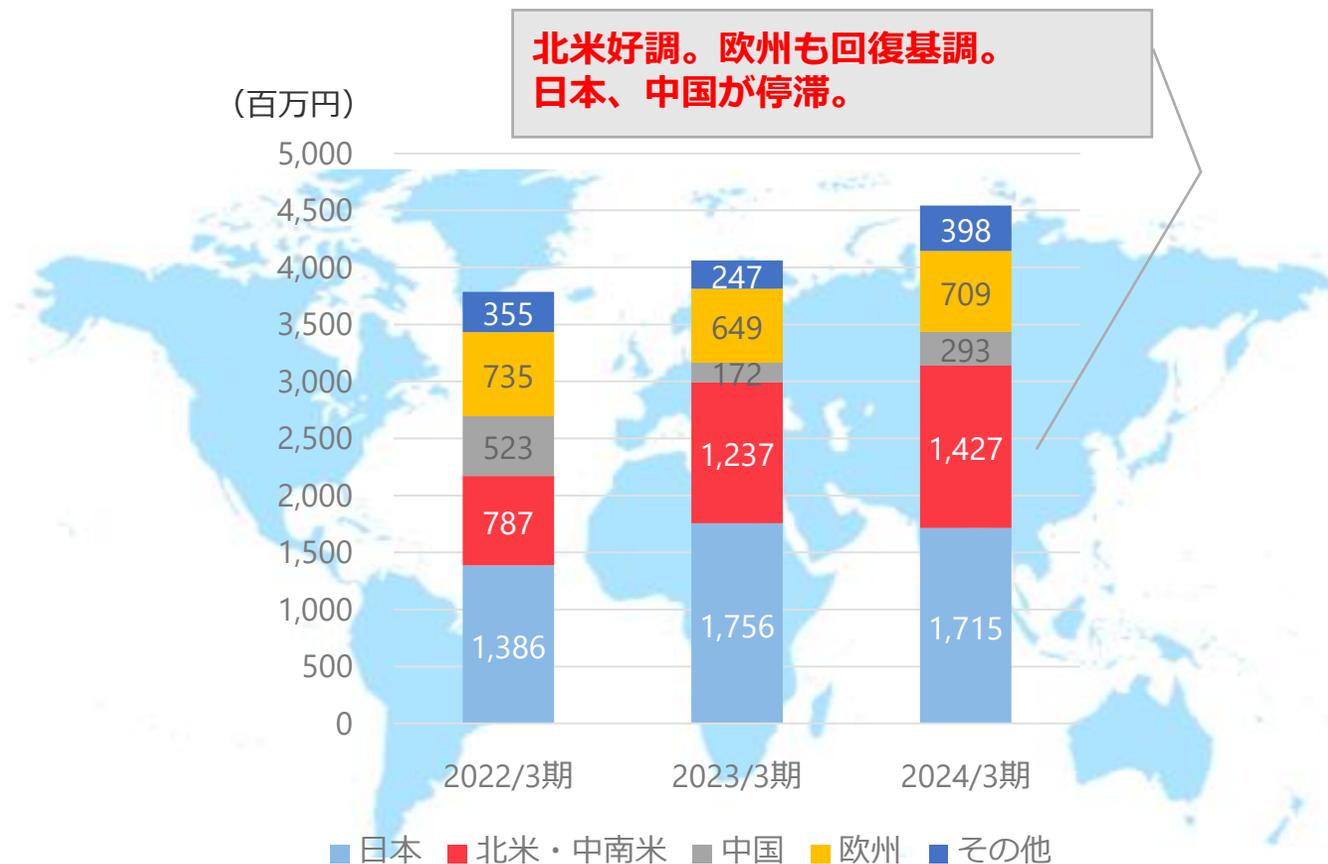


セグメント情報

■ 商品別売上高



■ 地域別売上高



財務情報

単位:百万円	23年3月末	24年3月末
流動資産	4,418	3,388
現預金	2,428	1,464
受取手形、売掛金及び契約資産	1,235	1,046
商品及び製品	351	372
その他	404	505
固定資産	991	1,243
有形固定資産	503	482
無形固定資産	39	31
投資その他の資産	448	729
総資産	5,409	4,632
流動負債	840	765
買掛金	246	149
1年内返済予定の長期借入金	5	6
その他	589	609
固定負債	492	507
退職金に係る負債	344	333
その他	147	173
純資産	4,076	3,358
株主資本合計	4,138	3,469
その他包括利益累計等	▲61	▲110
負債純資産合計	5,409	4,632

資本コストをより意識した経営を重要な経営課題と認識

既存事業（バリュービジネス）でのシェア向上と新規事業（グロースビジネス）の収益化という自社経営資源による成長及びM&A等を通じた外部資源を活用した成長によりROEを改善することを目指す一方、自己株取得等の施策を通じて資本コストを低減することにより、企業価値を向上し、資本コストを安定的に上回るROEの達成を目指す。

主な増減要因

- 長期前渡金：+260百万円
- 現金及び預金：△964百万円
- 長期繰延税金負債：+49百万円
- 買掛金：△96百万円

2024年3月に769百万円の自己株取得を実施

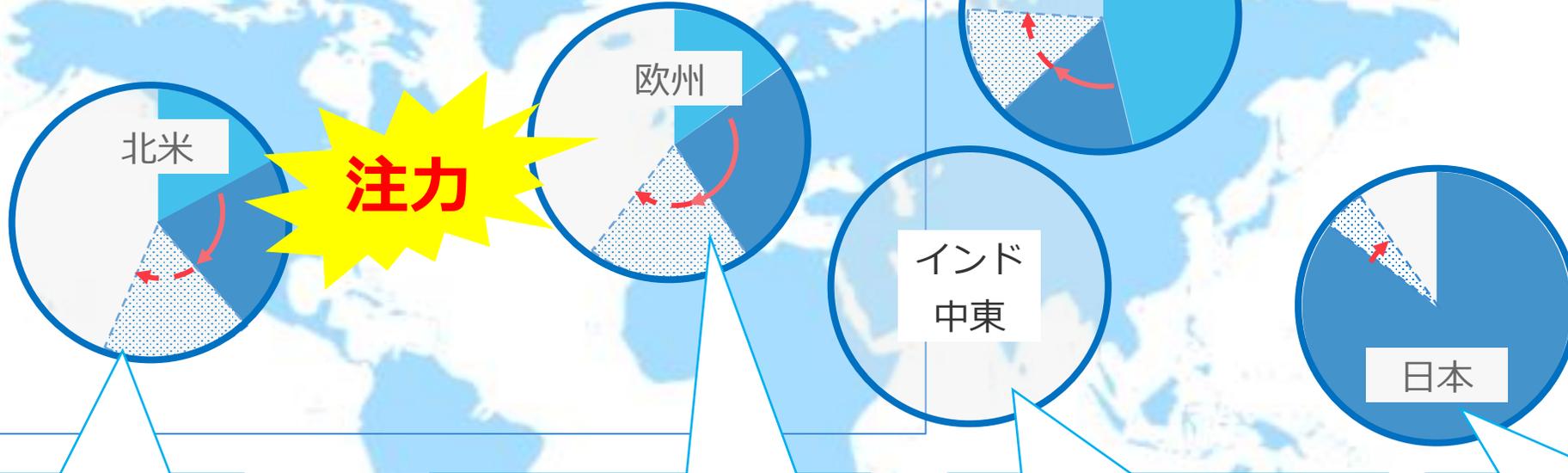
自己資本比率72.1%（前期末比△2.9pt）

2025年3月期 通期計画

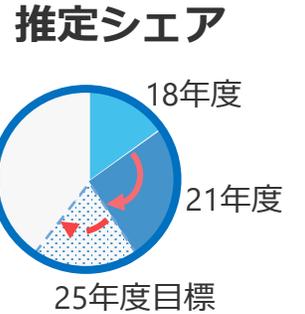
外部環境認識と事業方針

北米、欧州におけるトップシェア奪取に向けアクセルを踏み込む

欧米のシェア拡大に向け経営資源投下
製品開発、マーケティング活動加速



引き続き厳しい環境の継続を想定。



設備投資意欲好調を維持と予測。トップシェア奪取の環境が整ったと認識。CSを武器にマーケティング強化。

スポーツビジネスへの設備投資が活発化。マーケット環境は徐々に回復と予測。シェア拡大に向けマーケティング強化。

スポーツ中継など今後の拡大余地大きい。シェア獲得を優先した営業を展開。大型案件あり。

市場全体の低調な投資意欲が継続することを想定

2025年3月期通期業績計画

- IP化、リモートプロダクション化に対応するべく積極的な開発投資を継続。
- 北米、欧州におけるシェアトップ実現に向け開発、マーケティングの一層の強化。
- 今後成長が見込まれるインド・中東へのマーケティング強化。シェア獲得を優先。
- SFR-fitの国内におけるデファクト化と海外展開の足場づくり。

(単位：百万円)	2024年3月期 実績	構成 %	2025年3月期 計画	構成 %	前年同期比 %
売上高	4,544	100%	4,650	100%	+2.3%
営業利益	216	4.8%	250	5.4%	+15.5%
経常利益	295	6.5%	250	5.4%	△15.3%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	137	3.0%	190	4.1%	+37.8%

➤ デファクト化実現に向けリソースを国内に集中。

MTF Measurement Software
SFR-Fit

車載カメラ向け 解像度測定ソフトウェア

サプライチェーンを含めたビジネスモデル構築中

完成車メーカーと車載カメラ評価の仕組みづくり実施

販売拡大戦略

最終段階

2024年度

- 日本国内におけるデファクトスタンダード化
 1. 日本国内完成車メーカーの横展開
 2. 日本国内完成車メーカー向けサプライヤー（カメラメーカー等）への縦展開
- 海外展開（まずは北米）に向けた足場づくり

2025年度以降

- 海外市場での顧客獲得
- 自動車以外の産業に展開



【戦略製品】

Leader

LV5600W / LV7600W / LT4670

波形モニター

ラスタライザー

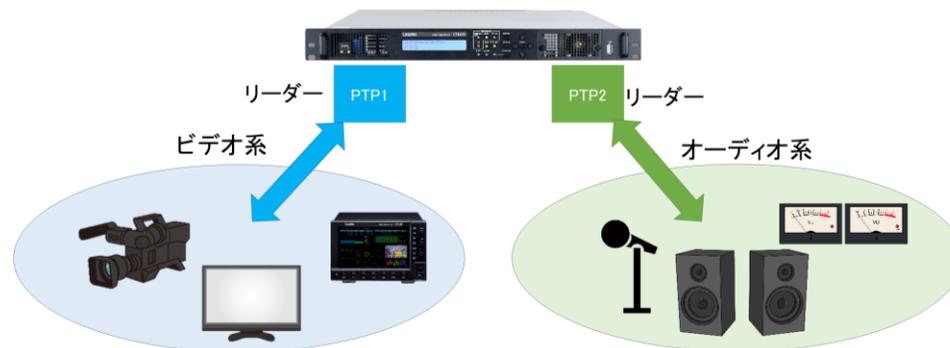
シンクジェネレーター

➤ IP化、リモートプロダクション化 対応機器

波形モニター ラスタライザー
LV5600W / LV7600W



●独立したPTPネットワーク使用例



シンクジェネレーター
LT4670

NEW



- ・今後加速するIP化と、IP化の特性を生かしたリモートプロダクション制作をWeb-RTCにてサポート。映像制作を格段に効率化。
- ・HDR(High Dynamic Range)対応TVへの映像提供を行う放送局が、適正なHDR映像を制作可能にする3D-LUT機能をLV5600W/LV7600Wへ追加搭載。
- ・マルチ言語の字幕DATA確認機能を追加搭載。欧州市場対応強化へ。

既存製品のビッグマイナー
チェンジを実施

- ・放送専用機器の集合体に必要不可欠、且つシステムの心臓部にあたる同期信号発生器をアップデート。
- ・IP化・リモートプロダクション設備に必要な同期信号「PTP」を搭載。
- ・4K化・IP化を積極推進する放送業界向けに4K-SDI・4K-IP信号発生オプションを市場投入。

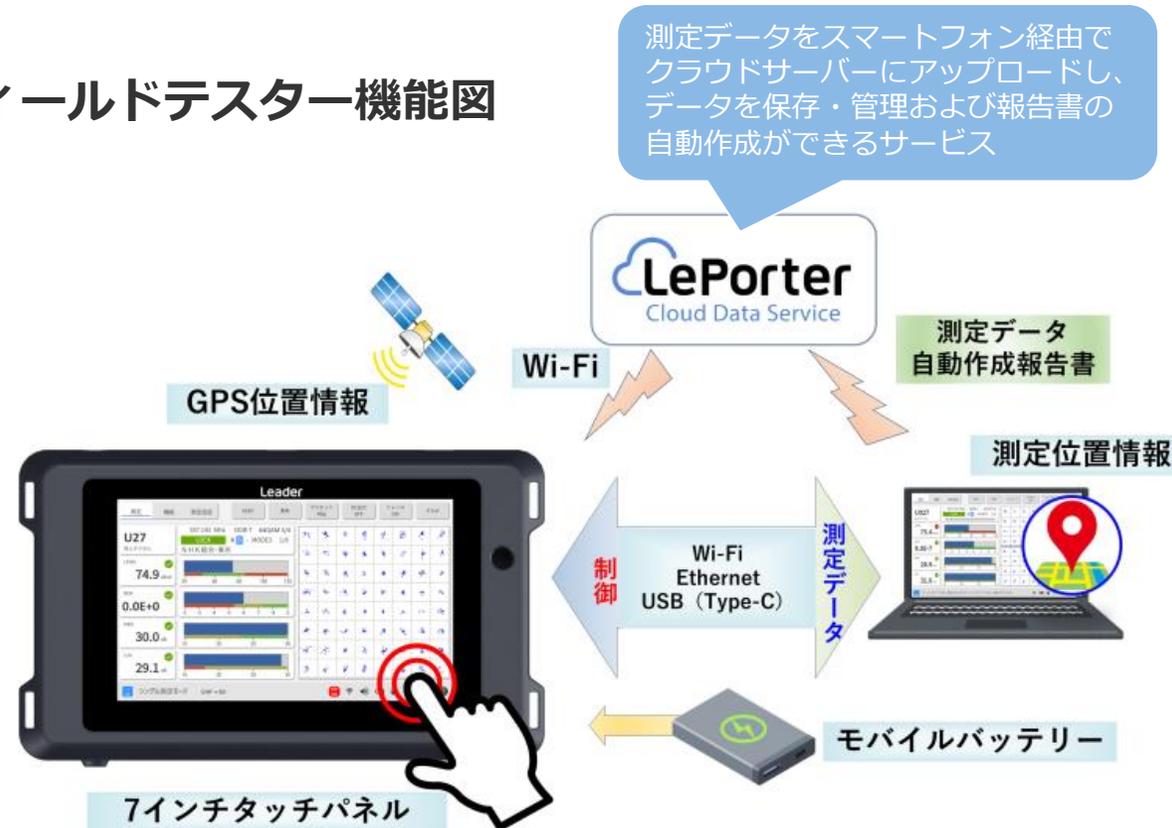
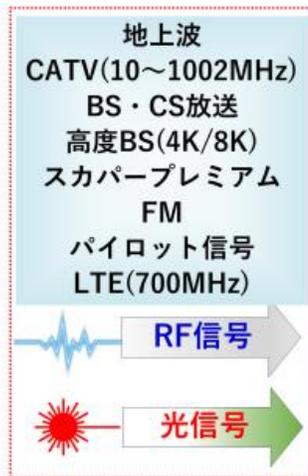
➤ 日本国内マーケット戦略商品

フィールドテスター
LF995
NEW



LF995 RFフィールドテスター機能図

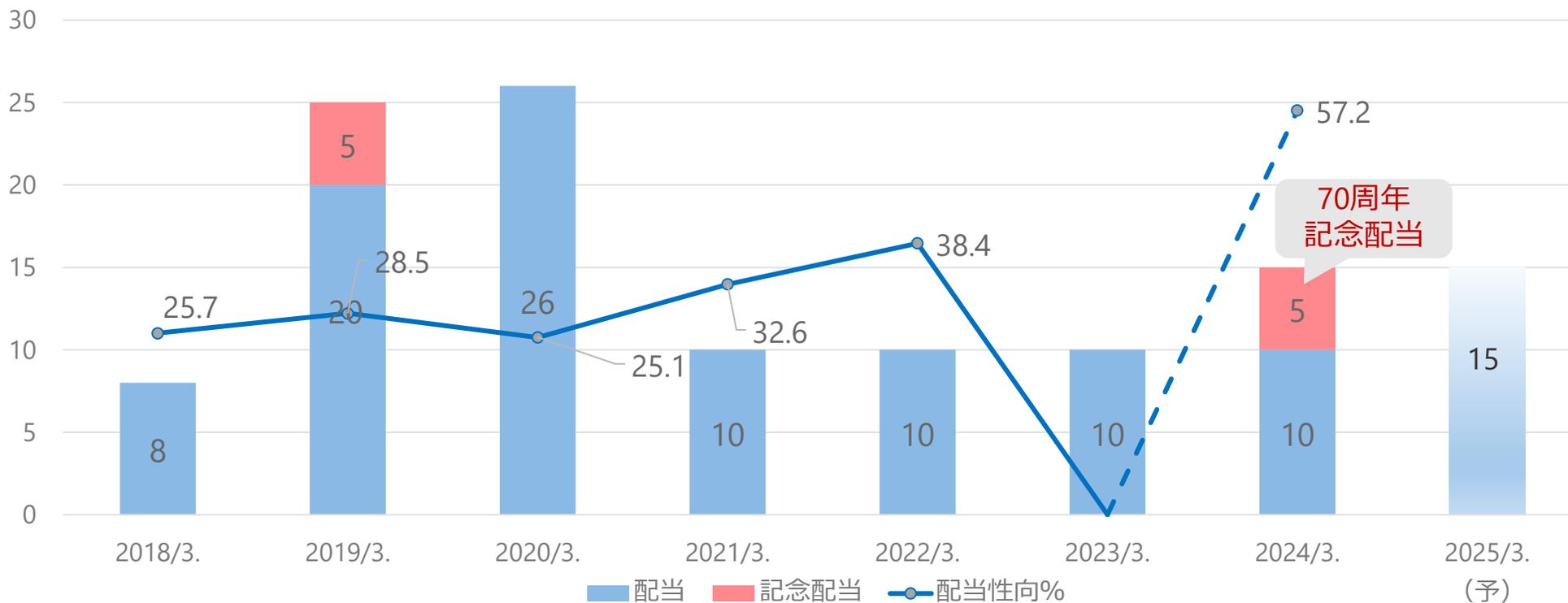
- ・ 地上波、CATV、衛星のデジタル放送に対応したRFフィールドテスター。
- ・ 遠隔アクセス対応。中継局設備の監視に最適且つ格段に作業性効率アップ。
- ・ 位置情報と測定データを自動でクラウドへアップロードを実現し報告書自動作成する事で業務効率が向上。



株主還元

企業成長投資と株主還元のバランス重視。安定的な配当を継続。

(配当：円)



R&D指針 更に積極的な投資を実施

激動の環境変化に迅速に対応すべく、積極的にR&Dへ投資

グループR&D投資額

